

様式 2

令和 2 年度 第 2 回学校評議員会 会議録

開催日時	令和 3 年 3 月 9 日(火) 16:30 ~ 17:30	
会場	北海道 高等学校 校長室	
出席者数	学校評議員 3 名	学校職員 6 名
出席者名	春田淳一、岡田理恵、中島 啓 (敬称略)	校長、副校長、教頭(全日制)、 教頭(定時制)、事務長、主幹教諭
校長が意見を求めた事項		学校評議員の意見
全日制副校長・定時制教頭から今年度の自己評価等について説明した。		
説明事項についての質疑・意見等	<p>【質疑】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 単位制の成果が出るのは3年後だが、期待している。単位制導入に伴い教職員数に変化はあるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員数はトータルでは-1である。少人数や習熟度別授業、選択科目の充実等により成果が出るようにしたい。 2 定時制で特別支援の項目があったが、該当の定義は療育手帳の有無という理解で良いのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ その他に、中学校からの引き継ぎや教員による観察も行う。 ・ 本校の定時制は、編入者が多く、再チャレンジへの意欲の高い生徒がいる。進学講習も行って、4年制大学や短期大学にも合格者を出している。 3 コロナの影響で、指導方法の変化や生徒の心の問題や退学など生徒に影響はないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な制約はあるが、すべての授業を現在は対面で行っている。また、コロナを理由にした不登校や退学者はいない。 <p>【意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 知人の保護者からも定時制への良い評判が聞こえている。また、全日制の保護者からも先生方が応援してくれたおかげで、進路実現ができたと聞いている。今後も指導に励んでいただきたい。 2 SSHについては、中学生にはまだ理解されていない面もあるが、何事にもチャレンジする学校であるというアピールが大事である。 3 コロナ禍で学校行事ができない中、冬に医療従事者への感謝、学校生活に潤いを与える、受験を控えた3年生を応援するために花火を打ち上げたことは良いことだ。 4 コロナで色々と困難があると思うが、柔軟な発想でやれることを工夫しながら行って欲しい。 	
上記のとおり会議を開催した。		
令和 3 年 3 月 1 0 日 北海道滝川高等学校長 鎌 田 到		